

みんきょう便り ～第20号～

発行：三島町民生児童委員協議会
＜広報委員＞
渡部 規子
酒井 いづみ
森田 喜美代
事務局/三島町社会福祉協議会

みんきょうとは・・・三島町民生児童委員協議会の略です

平成29年12月15日発行



民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会に出席して

去る7月9日、10日の両日、民生委員制度創設百周年記念全国民生委員児童委員大会が開催され、全国から一万人の民生委員、児童委員等が集いました。

第1日目は、東京ビッグサイト（江東区有明）を会場に、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、記念式典が執り行なわれました。

第2日は、都内5会場に分かれてテーマ別研修が行われ、5つのシンポジウムとともに、東京国際フォーラム（千代田区丸の内）においては各都道府県・指定都市を代表した民児協の活動紹介を行なう小規模発表集会、さらに特別企画として民生委員・児童委員活動PR映像展、活動紹介パネル展が行われました。

大会に出席してこれからも住民の立場に立った活動を展開していくことの重要性を再確認しました。

【報告者 三島町民生児童委員協議会 会長 小松 豊】



民生委員・児童委員制度の歴史

民生委員制度は、大正6年に岡山県で誕生した「済世顧問制度」を始まりとします。翌大正7年には大阪府で「方面委員制度」が発足し、昭和3年には方面委員制度が全国に普及しました。

戦後（昭和21年）、民生委員令の公布により名称が現在の「民生委員」に改められました。

この間、一貫して生活困窮者の支援に取り組むとともに、特に戦後は、時代の変化に応じて新たな活動に取り組むなど、地域の増進のために常に重要な役割を果たして来ました。

そして今年平成29年には、民生委員制度は済世顧問制度創設から100周年を迎えました。

Q.皆さんがお住いの地域に、民生委員・児童委員と呼ばれている方々がいるのをご存知ですか？

「民生委員」は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。社会福祉の増進のため、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っています。

核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や障がいのある方、高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そこで民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。

